

被爆者は核兵器廃絶を心から求めます

# ヒバクシャ国際署名 推進のつとめ

被爆75年・2020年を核兵器廃絶への転機の年に

《日時》10月24日(木)

午後2時開会

《会場》神戸市勤労会館2階

多目的ホール

第1部 「ヒバクシャ国際署名」キャンペーンリーダー

林田 光弘さんのお話

「2020年に向けた

ヒバクシャ国際署名の役割」

第2部 署名運動をさらに広げるために  
経験や、意見を交流しましょう



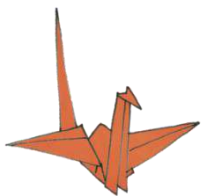
撮影 植田真紗美

林田 光弘さん

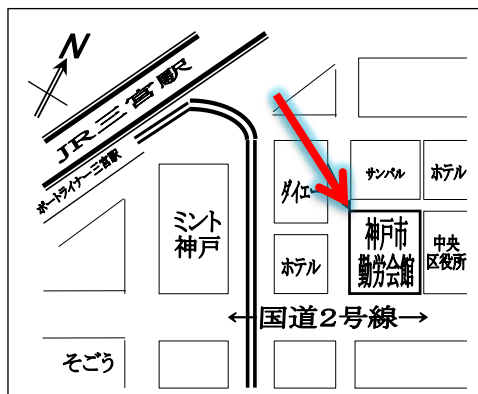
1992年長崎県生まれの被爆3世。高校2年生の時、核兵器廃絶を求める署名を国連に届ける「高校生平和大使」を務める。

2015年、安保法制反対を訴える学生団体「SEALDs(シールドズ:自由と民主主義のための学生緊急行動)」の創設に関わる。

2016年、日本被団協の田中熙巳前事務局長の依頼を受け、「ヒバクシャ国際署名」の事務局キャンペーンリーダーに就任。



《会場案内》神戸市中央区  
雲井通5-1-2  
☎078-232-1881



《主催》兵庫県原爆被害者団体協議会  
(略称 兵庫被団協)

〒657-0037 神戸市灘区備後町1丁目2-24-20F 立川重則方 ☎078-841-6729

本集会についてのお問合せ先  
兵庫被団協事務局次長 副島園義  
090-9164-1934  
Eメール:AND05120@nifty.com

# 「ヒバクシャ国際署名 推進のつどい」に、ぜひお越しください

兵庫県原爆被害者団体協議会 理事長 岡邊好子



みなさまには、日頃より被爆者をあたたかく支えていただき、また、核兵器廃絶をめざしてご尽力いただき、こころから感謝申し上げます。

3年前、「被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます」と、世界に向けて訴えました。

この訴えに応えて、多くの方々が「ヒバクシャ国際署名」の運動を起こし、広げてくださいました。

全国の有力な諸団体は「署名推進連絡会」をつくってくださいました。

その事務局・キャンペーンリーダーを引き受けてくださったのが、長崎生まれの被爆3世・林田光弘さんです。たいへんご多忙な中、こんどの「つどい」には、林田さんに来ていただけることになりました。

新鮮なセンスで、被爆者の願いを受け継いでいただける若い世代の方々のご活躍に、私たちはどれほど励まされていることでしょう。

林田さんからは、運動のご経験やご苦勞、いっそう盛り上げるために大事だとお考えのこと、国際的な会合にも出られて直接つかまれている世界の動向、そして、キャンペーンリーダーをお引き受けいただいた思い、等などのお話が伺えることと存じます。

林田さんのお話を伺ったあと、参加して下さったみなさま同士の交流の場を設けます。

来年は被爆75年の節目の年。署名運動をさらに大きく広げ、禁止条約の発効と「禁止から廃絶へ」の転機とするために、ぜひ、この「つどい」にお越しくださいますよう、ご案内申し上げます。



神戸市原爆被害者の会、尼崎市原爆被害者の会、西宮市原爆被害者の会、芦屋市原爆被害者の会、伊丹市原爆被害者の会、宝塚市原爆被害者の会、丹有原爆被害者の会、明石市原爆被害者の会、高砂市原爆被害者の会、加古川市原爆被害者の会、淡路原爆被害者の会、赤穂市原爆被害者の会、太子町原爆被害者の会、豊岡市原爆被害者の会、兵庫県被爆二世の会

「ヒバクシャ国際署名」運動には、県下自治体首長の多くの方々のご賛同、ご協力をいただいています。

2018年に作ったポスター



2019年に作った署名用紙（表面）

